

研究課題名	肝がんにおけるゲノム異常解析
研究責任者名	大学病院消化器・代謝内科 准教授 相方 浩
研究期間	2013年1月(倫理委員会承認後)～2027年3月
対象者	<p>当院消化器外科および消化器・代謝内科通院中の肝がん患者さんのうち、本研究について説明を受け、同意いただいた患者さん</p> <p>2004年4月から2013年9月の間に、広島大学病院 消化器・代謝内科で『慢性肝疾患および肝腫瘍関連遺伝子研究』の研究にご同意いただいた患者さん及び手術試料の保存について同意をいただき、試料が保存されている患者さん</p>
意義・目的	<p>ほとんどすべてのがんでは、共通して遺伝子の設計図であるゲノムに、正常組織では認められない異常(変異)が生じており、その結果、無秩序な細胞増殖や転移をきたすことがわかっています。さらに、特定のがんや病態においては、特徴的なゲノム変異が認められるため、それぞれのがんで、ゲノムの異常(変異)がゲノムのどこでどのようにして起こっているかを体系的に見つけ、整理することで、がんにおけるゲノム変異を解明することができれば、がんの予防・診断・治療法の研究分野に飛躍的な進歩をもたらす可能性があります。今回の我々の遺伝子解析研究は、発がんの際におこるゲノム異常を見つけ出そうとするものです。そうした遺伝子が見つければ、がんの予防や治療に有用な情報をあたえる可能性があります。</p>
方法	<p>本研究は、手術あるいは生検の際に摘出された腫瘍組織の一部、血液、尿と、診療録(カルテ)情報(性別、年齢、がんの状態、治療歴、血液検査値等)を用いて行います。試料・情報等は名前などがわからないようにした上で、ゲノム医科学研究センター(研究責任者 茶山一彰、中川英刀)、University of Texas Southwestern Medical Center(研究責任者 星田有人)、Gilead Sciences, Inc.(研究責任者 Ondrej Podlaha, Zhaoshi Jiang)、アボットジャパン株式会社(研究責任者 絹川秀樹)、または放射線影響研究所(研究責任者 大石 和佳)、Guardant Health AMEA, Inc.(研究責任者 縣直樹)、The Institut national de la santé et de la recherche médicale (INSERM)(研究責任者名: Thomas Baumert)、イーザイ株式会社、Medical University of South Carolinaへ郵送で提供し遺伝子解析を行います。</p> <p>患者さんからは説明文書を用いて同意をいただきますが、2004年4月から2013年9月の間に、広島大学病院 消化器・代謝内科で『慢性肝疾患および肝腫瘍関連遺伝子研究』の研究にご同意いただいた患者さん及び手術試料の保存について同意をいただき、試料が保存されている患者さんの内、お亡くなりになられた方においては同意をい</p>

共同研究機関

理化学研究所ゲノム医科学研究センター消化器疾患研究チーム

理化学研究所バイオマーカー探索・開発チーム

University of Texas Southwestern Medical Center Hoshida研究室

Gilead Sciences, Inc.

アボットジャパン株式会社

放射線影響研究所

県立広島病院

広島赤十字原爆病院

安佐市民病院

JA 尾道総合病院

JA 広島総合病院

マツダ病院

中国電力病院

庄原赤十字病院

Guardant Health AMEA, Inc.

The Institut national de la santé et de la recherche médicale (INSERM)

エーザイ株式会社

Medical University of South Carolina

試料・情報の管理責任者

理化学研究所ゲノム医科学研究センター消化器疾患研究チーム 茶山 一彰

理化学研究所バイオマーカー探索・開発チーム 中川 恭子

個人情報保護について

本研究は広島大学ヒトゲノム・遺伝子解析研究倫理審査委員会で審査を受けて承認をされています。研究は、プライバシー保護に十分留意して行います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。

問合せ・苦情等の窓口

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

広島大学病院消化器・代謝内科 職名 准教授 相方 浩

T e l : 082-257-5190